

子宮頸がん予防検診も怠らず

新潟市中央区

佐藤 早苗(66)

主婦

「がいのよ」と言っていると、「え、そうなの？」と驚く人が結構いることだ。

子宮頸がんワクチンの公費助成をする自治体が増えつつある。このように動きの中でちょっと気になることがある。

「すでに感染している場合、

ワクチンを打てば絶対に子宮頸がんにはならないと誤解し、「子宮頸がんを予防するには検診も受けた方

「ワクチンさえ打てば安心」という誤解が広まって、今でも検診を受ける人が少ないのに、一層受けない人が増えないだろうか。

ワクチンは万能ではないのだ。限界があり、子宮頸がん予防には検診も受けね

ばならないことを知ってほしい。若者の性の問題に取り組んでおられる泌尿器科医の岩室紳也さんは著書「思春期の性」の中で、ペニスの清潔が保てないで、さまざまな病原菌がすみつき、女性がHPVに

感染するリスクが高くなるということを述べておられる。子宮頸がん予防は性交渉相手の男性が注意すべき点に触れず、ワクチン接種だけが取り上げられている。性教育で教えてほしい。